

DENON®

PMA-SX11

INTEGRATED AMPLIFIER

# 取扱説明書

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

# 目次

使用上のご注意	3
携帯電話使用時のご注意	3
お手入れについて	3
結露（つゆつき）について	3
付属品	4
乾電池の入れかた	5
リモコンの使いかた	5
特長	6
<b>各部の名前</b>	
フロントパネル	7
リアパネル	9
リモコン	10
本機の操作	10
CDプレーヤーの操作	11
<b>接続のしかた</b>	
スピーカーを接続する	13
スピーカーケーブルを接続する	13
スピーカー接続	14
再生機器を接続する	15
バランス端子について	16

録音機器を接続する	17
プリアンプを接続する	18
電源コードを接続する	19

## 再生のしかた

電源を入れる	21
入力ソースを切り替える	22
音量を調節する	22
一時的に音を消す（ミュートイング）	22
左右の音量バランスを調節する	22
CDを再生する	23
録音する	23

## 設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する	25
オートスタンバイモードをオンにする	25
オートスタンバイモードをオフにする	25
イルミネーションライトの明るさを調節する	26

## 困ったときは

目次	27
こんなときの解決方法	28
故障かな？と思ったら	29
保証と修理について	32

## 付録

用語の解説	34
主な仕様	35
索引	37

## 使用上のご注意

### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

### お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

### 結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところへ移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

#### ご注意

- 本機は大変重いため、ラックなどに設置する場合は、ラックの搭載制限重量を必ず確認してください。ラックの搭載制限重量については、ラックの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の移動は、必ず2名以上でおこなってください。

### ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 付属品

---

ご使用になる前にご確認ください。

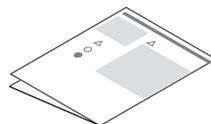
① かんたんスタートガイド



② 取扱説明書（本書）



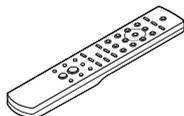
③ 安全にお使いいただくために ④ 保証書



⑤ 電源コード【本機専用】



⑥ リモコン（RC-1179）

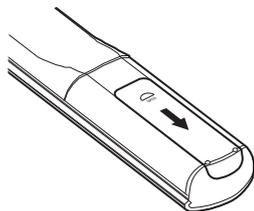


⑦ 単4形乾電池（2本）



## 乾電池の入れかた

- ① 裏ぶたを矢印の方向へスライドして取りはずす。



- ② 乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



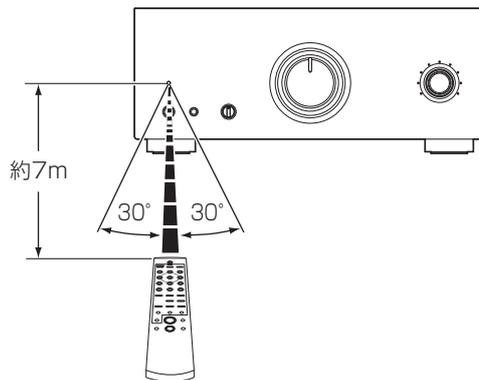
- ③ 裏ぶたを元どおりにする。

### ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内に付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

## リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



# 特長

---

- ・**繊細さと力強さを両立するUHC-MOSシングルプッシュプルサーキット**

出力段には、リニアリティに優れ単体で大電流を流すことができるUHC-MOSをシングルプッシュプルで用いているシンプルな回路を採用しています。カスコードブートストラップ接続によって、UHC-MOSにかかる電圧を常に一定にコントロールするとともに温度安定性を高め、UHC-MOSの持つ優れた音響特性を安定して引き出します。

- ・**防振対策を施した強力な電源部**

電源部は大電流を要求される出力段と、安定性を要求される電圧増幅段を、トランス巻線段階から分離しています。整流用のコンデンサーには、低インピーダンス電極箔を採用した大容量高音質電解コンデンサーと、周波数特性の異なる高音質コンデンサーを組み合わせ高音質化を図っています。また、整流素子には低損失、低ノイズ、ハイスピードのショットキーバリアダイオードを採用。十分かつクリーンな電流供給を実現しています。アンプの中で一番の振動源であるトランスを防振特性に優れた鋳物ケースに封入。また、振動の影響を受けやすいコンデンサーの固定にも砂型鋳物ホルダーを採用。徹底した振動対応設計により、にごりのないクリアな再生を実現します。

- ・**フォノイコライザーアンプ分離独立設計**

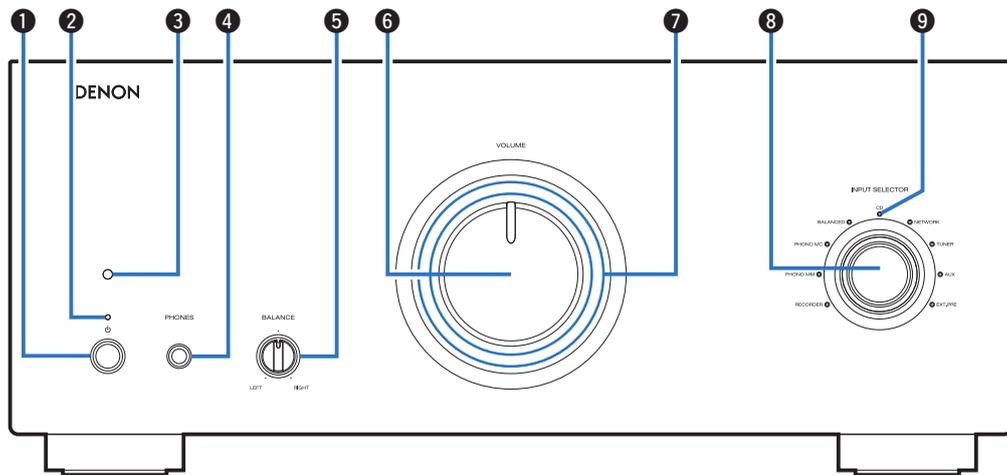
独立した専用安定化電源回路を備えたフォノイコライザー回路（CR型）は、ローノイズFETを初段に使用し優れた特性を備えており、高音質なアナログレコード演奏を楽しむことができます。また独立電源のため、他のソース（CDなど）の再生時にイコライザー回路をオフにすることで、再生信号への干渉による影響を排除できます。

- ・**ブロック独立シャーシ構成**

イコライザーおよび入力部、ボリュームコントロール部、電圧増幅部、電力増幅部、電源部、コントロール部を独立配置した6ブロック構成シャーシを採用。1.6mm厚の鋼板によるシャーシは外部振動から信号回路を守り、また各回路間の干渉の影響を排除します。

# 各部の名前

## フロントパネル



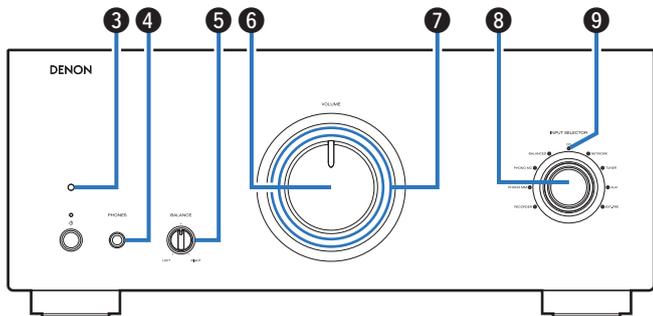
### ① 電源ボタン (⏻)

本機の電源をオン/オフします。(P.21ページ)

### ② 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- 電源オン後数秒間：赤色 (点滅)
- 電源オン時：緑色
- ミューティング時：赤色 (点滅)
- スタンバイ時 (オートスタンバイモード “オフ”)：赤色
- スタンバイ時 (オートスタンバイモード “オン”)：消灯
- 電源オフ時：消灯



### ③ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(☞5ページ)

### ④ ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカー端子から音が出なくなります。

#### ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

### ⑤ バランス調節つまみ (BALANCE)

左右の音量バランスを調節します。(☞22ページ)

### ⑥ 音量調節つまみ (VOLUME)

音量を調節します。(☞22ページ)

### ⑦ イルミネーションライト

電源をオンにすると点灯します。

リモコンの操作で明るさを調節できます。(☞26ページ)

### ⑧ 入力ソース切り替えつまみ (INPUT SELECTOR)

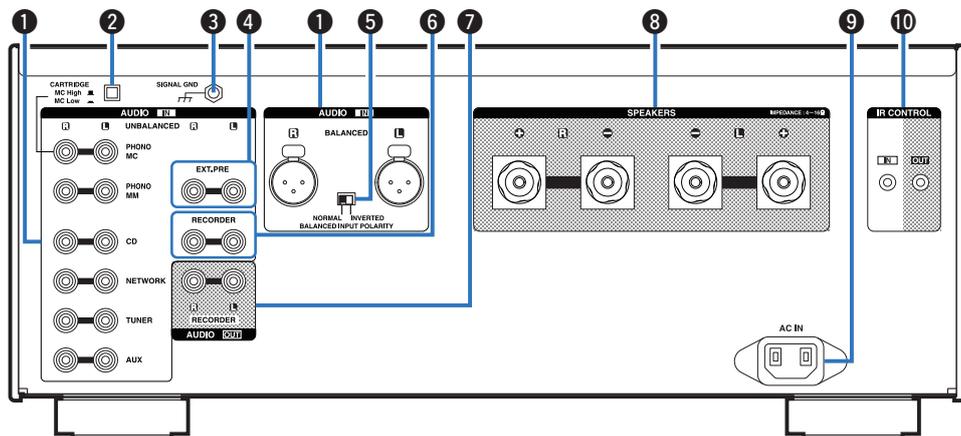
入力ソースを切り替えます。(☞22ページ)

### ⑨ 入力表示 (☞22ページ)

#### ご注意

- エクスターナルプリアンプ入力では本機の音量が最大になり、音量調節およびバランス調節がはたらかなくなります。再生する前に入力側の機器の出力レベルを確認し、音量を調節してください。

# リアパネル



## ① 音声入力端子 (AUDIO IN)

プレーヤーを接続します。(☞15ページ)

## ② MCカートリッジ切り替えスイッチ (CARTRIDGE)

MC入力端子に接続されたレコードプレーヤーのカートリッジのインピーダンスに合わせて切り替えます (HighまたはLow)。

## ③ アース端子 (SIGNAL GND)

レコードプレーヤーを接続します。(☞15ページ)

## ④ エクスターナルプリアンプ入力端子 (EXT.PRE)

本機をパワーアンプとしてご使用になる場合に、プリアンプを接続します。(☞18ページ)

音量の調節は、接続する機器でおこなってください。

## ⑤ バランス入力位相切り替えスイッチ

バランス入力の位相を切り替えます。(☞16ページ)

## ⑥ 録音入力端子 (AUDIO IN/RECORDER)

録音機器の出力端子を接続します。(☞17ページ)

## ⑦ 録音出力端子 (AUDIO OUT/RECORDER)

録音機器の入力端子を接続します。(☞17ページ)

## ⑧ スピーカー端子 (SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(☞14ページ)

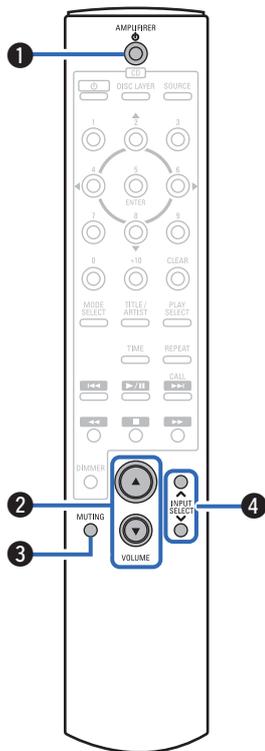
## ⑨ ACインレット (AC IN)

電源コードを接続します。(☞19ページ)

## ⑩ IRコントロール入出力端子 (IR CONTROL)

IRコントロール端子付きのデノン製ネットワークオーディオプレーヤーを接続します。

# リモコン



## 本機の操作

### ① アンプ電源ボタン (AMPLIFIER ㊤)

本機の電源をオン/オフ (スタンバイ) します。

- 「電源を入れる」 (☞ 21ページ)
- 「オートスタンバイモードを設定する」 (☞ 25ページ)

### ② 音量調節ボタン (VOLUME ▲▼)

音量を調節します。(☞ 22ページ)

### ③ 消音ボタン (MUTING)

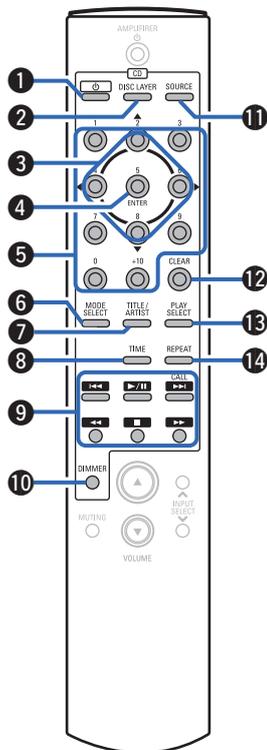
消音します。(☞ 22ページ)

### ④ 入力ソース選択ボタン (INPUT SELECT)

入力ソースを切り替えます。(☞ 22ページ)



- このリモコンでは、デノン製CDプレーヤーの操作ができます。ご使用の際は、CDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。一部操作ができない製品もあります。



## CDプレーヤーの操作

デノン製CDプレーヤーを操作できます。

- ① CD電源ボタン (CD)
- ② ディスクレイヤー切り替えボタン (DISC LAYER)
- ③ カーソルボタン (△▽◀▷)
- ④ エンターボタン (ENTER)
- ⑤ 数字ボタン (0~9、+10)
- ⑥ 再生モード選択ボタン (MODE SELECT)
- ⑦ テキスト表示切り替えボタン (TITLE/ARTIST)
- ⑧ 時間表示切り替えボタン (TIME)
- ⑨ 再生操作ボタン
  - スキップボタン (I◀◀、▶▶I)
  - 再生/一時停止ボタン (▶/||)
  - コールボタン (CALL)
  - 早戻し/早送りボタン (◀◀、▶▶)
  - 停止ボタン (■)
- ⑩ 明るさ調節ボタン (DIMMER)
- ⑪ メディアモード選択ボタン (SOURCE)
- ⑫ クリアボタン (CLEAR)
- ⑬ 再生モード選択ボタン (PLAY SELECT)
- ⑭ リピートボタン (REPEAT)

# 接続のしかた

スピーカーを接続する (👉 13ページ)

再生機器を接続する (👉 15ページ)

録音機器を接続する (👉 17ページ)

プリアンプを接続する (👉 18ページ)

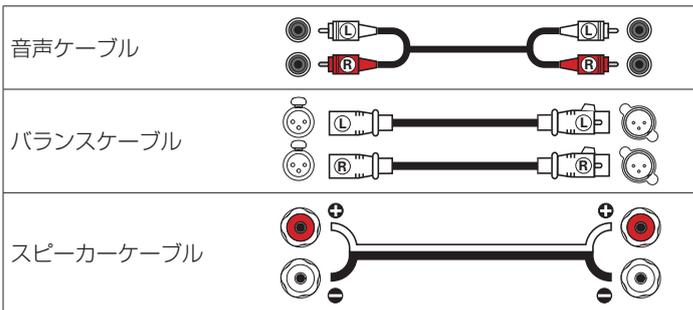
電源コードを接続する (👉 19ページ)

## ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。

## ■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。



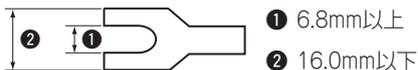
# スピーカーを接続する

## ご注意

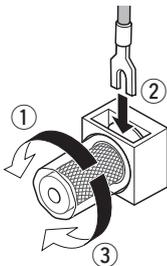
- ・スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。  
（「保護回路」(P.34ページ)）
- ・通電中は、絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- ・インピーダンスが4～16Ωのスピーカーをご使用ください。

## スเปード端子（Yラグ）を使用する場合

下記寸法のスぺード端子をご使用ください。

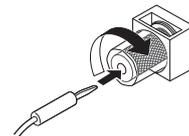


- ① スピーカー端子を左に回してゆるめる。
- ② 開口部にスぺードを挿入する。
- ③ 端子を締め付け固定する。



## バナナプラグを使用する場合

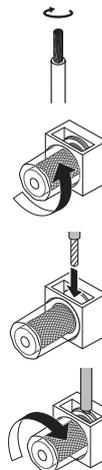
バナナプラグをご使用になる場合は、端子を右に回して締め付けてから挿入してください。



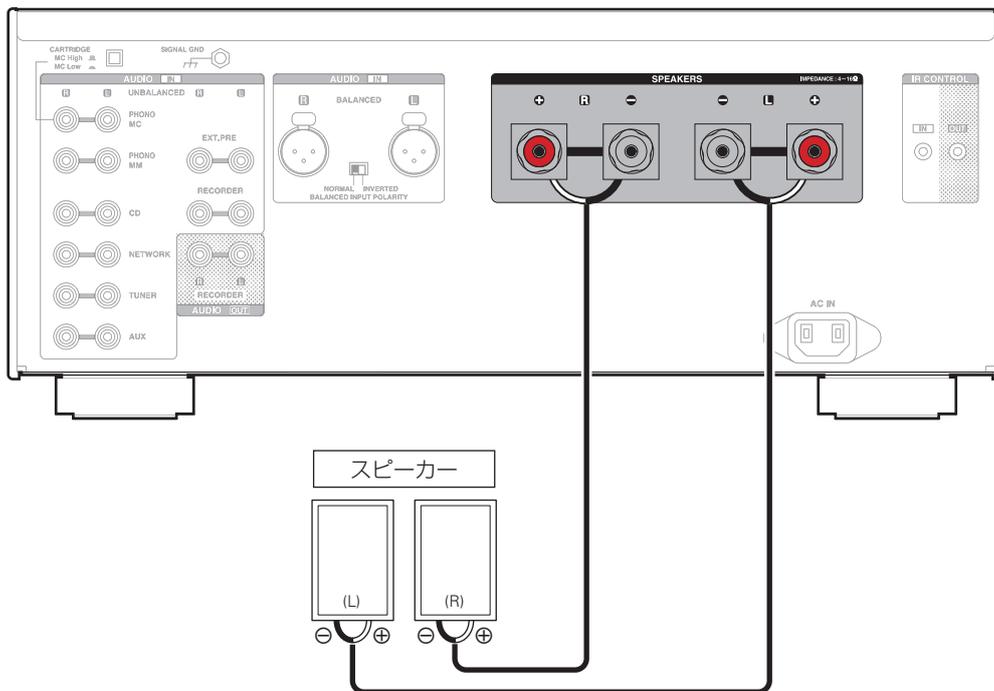
## スピーカーケーブルを接続する

本機とお使いになるスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、+（赤）、-（黒）をよく確認し、同じ極性を接続してください。

- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるなど端未処理をおこなう。
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。
- 4 スピーカー端子を右に回して締める。

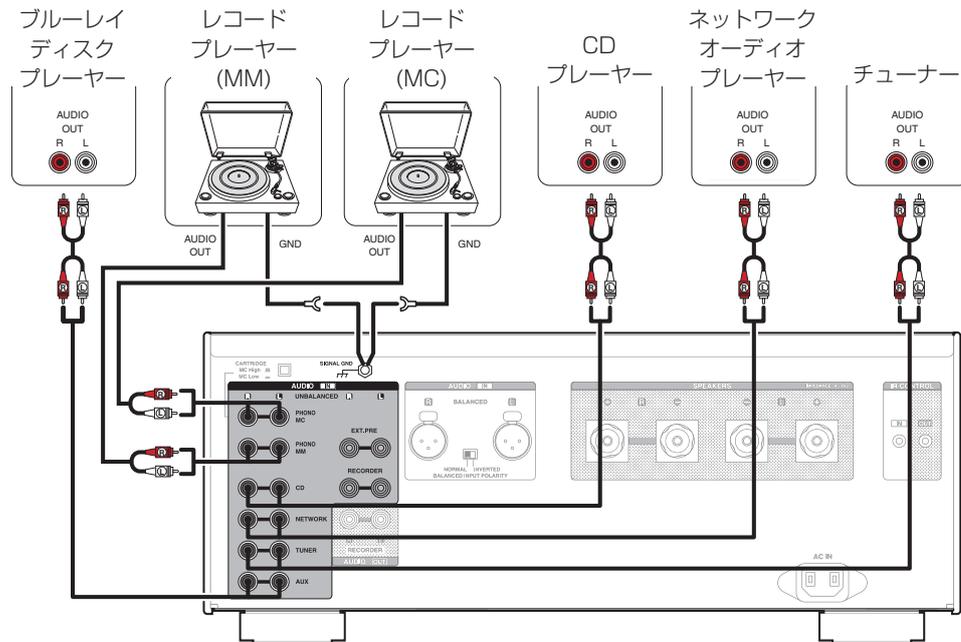


# スピーカー接続



## 再生機器を接続する

本機には、レコードプレーヤー、チューナー、CDプレーヤーおよびネットワークオーディオプレーヤーを接続できます。本機の入力ソースを“MC”または“MM”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される場合があります。



- MC入力端子およびMM入力端子にはショートピンプラグが付属しています。レコードプレーヤーを接続する際は必ずしてください。はずしたショートピンプラグは大切に保管してください。
- 接続するレコードプレーヤー (MC) のカートリッジのインピーダンスに応じて、MCカートリッジ切り替えスイッチ (CARTRIDGE) を切り替えてください。

MC Low : 10Ω未満の場合

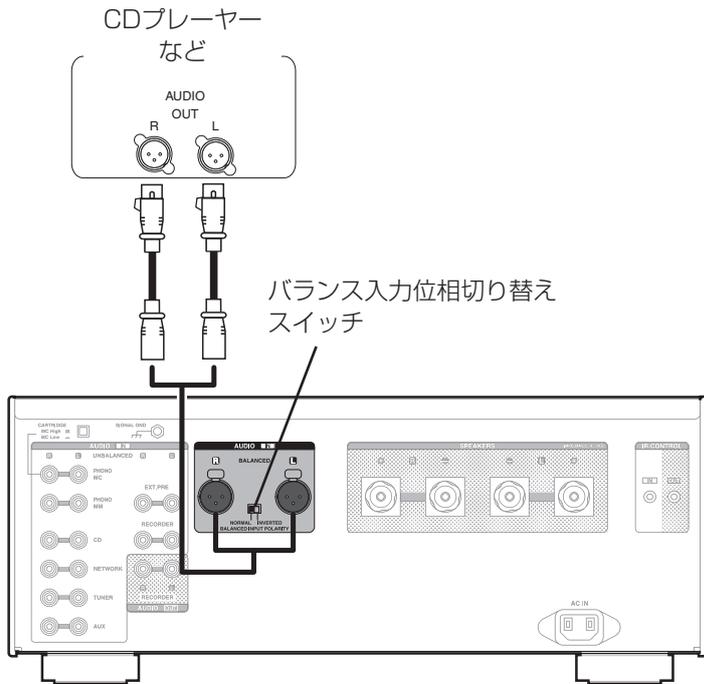
MC High : 10Ω以上の場合

### ご注意

- 本機のアース端子 (SIGNAL GND) は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。

## バランス端子について

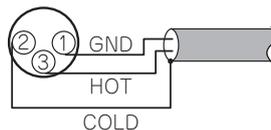
本機には、アンバランス端子の他にバランス端子を搭載しています。バランス端子は3ピン構造のため、音声信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響を少なくすることができます。また、着脱ロック機構のためコネクタ部のぐらつきが少なく、信頼性が高いといった特長があります。



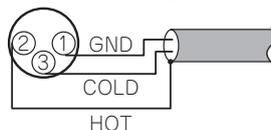
### ■ バランス端子の位相について

バランス端子の接続は、信号の位相により2とおりあります。

- ・スイッチ：NORMAL側  
(② PIN=COLD ③ PIN=HOT)

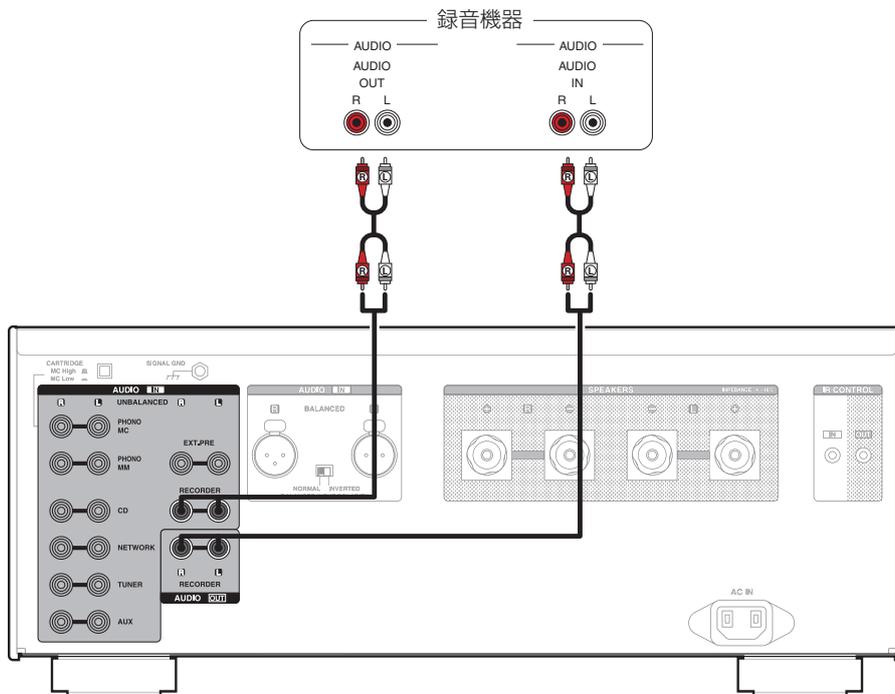


- ・スイッチ：INVERTED側  
(② PIN=HOT ③ PIN=COLD)



電源を入れる前に接続するCDプレーヤーなどの位相に合わせて、バランス入力位相切り替えスイッチを設定してください。

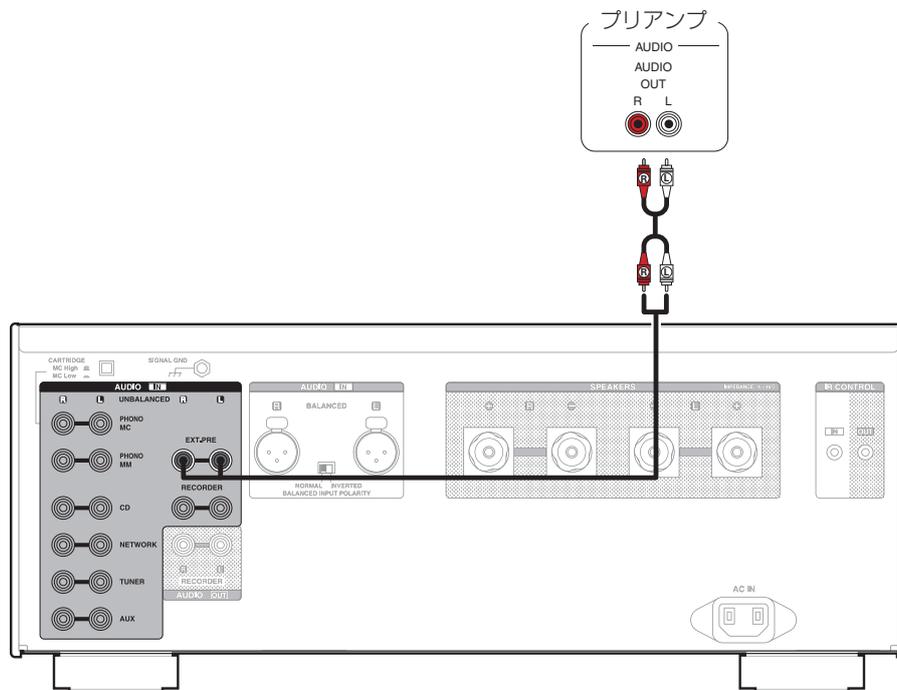
# 録音機器を接続する



## ご注意

- 録音出力端子 (AUDIO OUT/RECORDER) にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

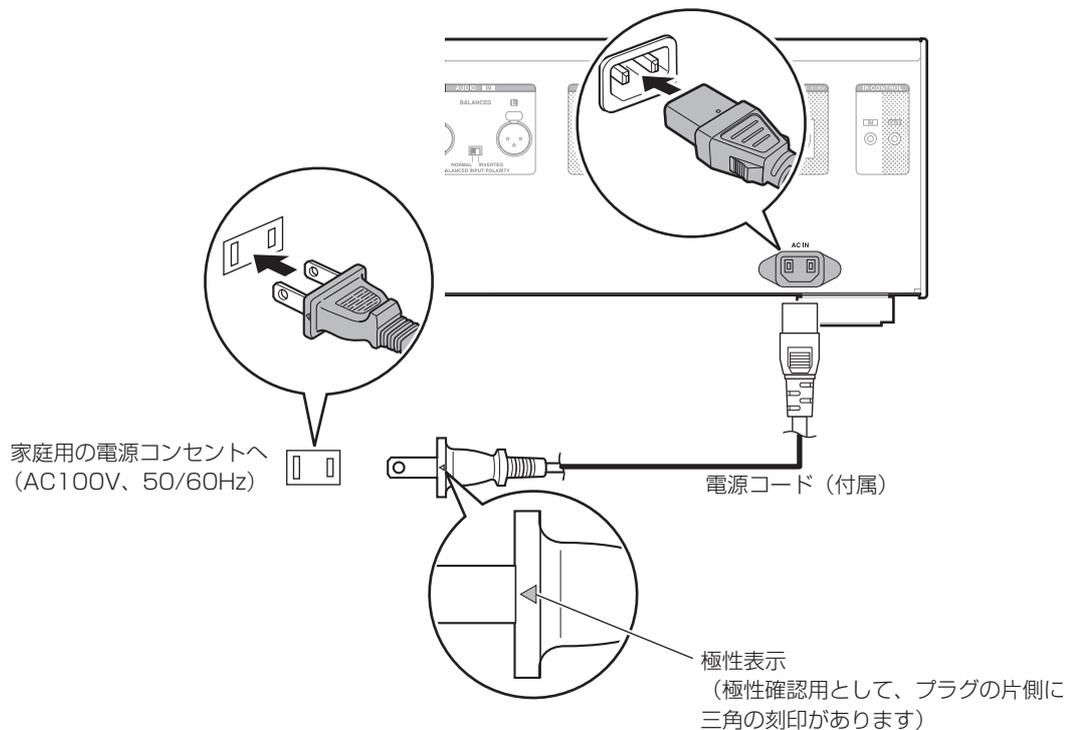
## プリアンプを接続する



- エクスターナルプリアンプ入力端子 (EXT.PRE) にはショートピンプラグが付属しています。プリアンプを接続する際ははずしてください。はずしたショートピンプラグは大切に保管してください。

## 電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



• 付属の電源コードには、極性を表示しています。お好みの音質になるようにコンセントへ差し込んでください。

## 再生のしかた

電源を入れる (🔊 21ページ)

入力ソースを切り替える (🔊 22ページ)

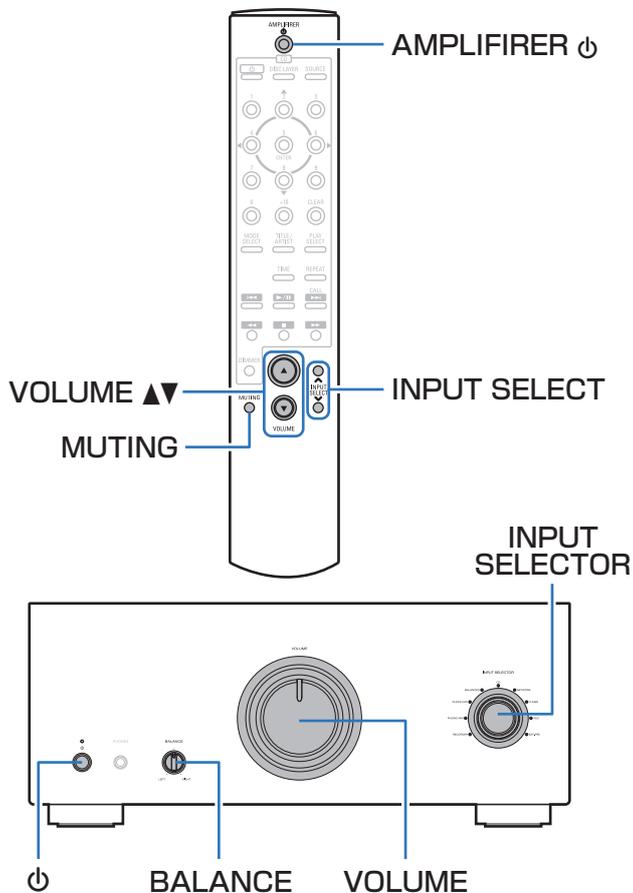
音量を調節する (🔊 22ページ)

一時的に音を消す (ミュートィング) (🔊 22ページ)

左右の音量バランスを調節する (🔊 22ページ)

CDを再生する (🔊 23ページ)

録音する (🔊 23ページ)



## 電源を入れる

- 1 本体の  $\text{\textcircled{P}}$  を押して、電源を入れる。  
選択している入力ソースの表示が点灯します。



- スタンバイ状態から再び電源を入れるときは、AMPLIFIRER  $\text{\textcircled{P}}$  を押してください。

### ご注意

- 電源を入れる前に、本体のVOLUMEを回して、音量を最小にしてください。

## ■ 電源をスタンバイにする

- 1 AMPLIFIRER  $\text{\textcircled{P}}$  を押す。  
スタンバイ状態になります。  
オートスタンバイモードの設定によって、電源表示の点灯のしかたが変わります。
  - スタンバイ時（オートスタンバイモード“オフ”）：赤色
  - スタンバイ時（オートスタンバイモード“オン”）：消灯

## ■ 電源を切る

- 1 本体の  $\text{\textcircled{P}}$  を押す。  
電源がオフになり、すべての表示が消灯します。

## 入力ソースを切り替える

### 1 INPUT SELECTを押して、再生する入力ソースを切り替える。

選択した入力ソースの表示が点灯します。



- 本体のINPUT SELECTORを回しても、入力ソースを切り替えることができます。
- 次の入力ソース切り替え操作をおこなった場合、切り替えてから約5秒後に再生音を出力します。
  - PHONO MM、PHONO MC、BALANCEDからその他の入力ソースへ切り替えた場合。
  - PHONO MM、PHONO MC、BALANCED以外から他の入力ソースへ切り替えた場合。

## 音量を調節する

### 1 VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。



- 本体のVOLUMEを回しても、音量を調節できます。

## 一時的に音を消す（ミュートイング）

### 1 MUTINGを押す。

電源表示が赤色に点滅します。



- ミュートイングを解除するときは、もう一度MUTINGを押してください。

## 左右の音量バランスを調節する

### 1 本体のBALANCEを回して、左右の音量バランスを調節する。

## CDを再生する

ここでは、CDの再生のしかたを例に説明します。

- 1 本体の **⏻** を押して、電源を入れる。
- 2 INPUT SELECTを押して、入力ソースを“CD”に切り替える。  
入力表示の“CD”が点灯します。
- 3 CDを再生する。
- 4 VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。

## 録音する

- 1 INPUT SELECT を押して、録音する入力ソースに切り替える。
- 2 録音機器を録音状態にする。
- 3 録音をはじめめる。

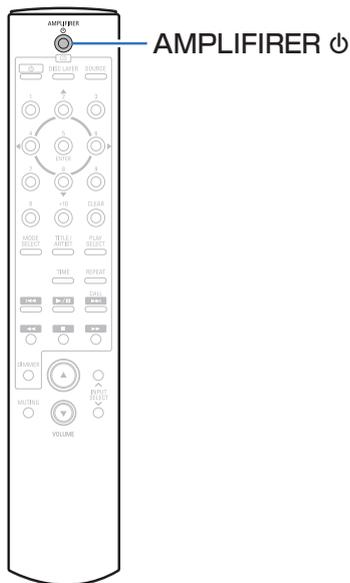
## 設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する (🔍 25ページ)

イルミネーションライトの明るさを調節する (🔍 26ページ)

# オートスタンバイモードを設定する

音声の入力がない状態で本機を約30分間操作しないとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定できます。  
お買い上げ時は、オートスタンバイモードをオフに設定しています。



## オートスタンバイモードをオンにする

- 1 **AMPLIFIRER 0** を5秒以上押して、オートスタンバイモードをオンにする。  
スタンバイ表示が3回点滅します。
  - オートスタンバイモードをオンにすると、本機がスタンバイ状態のときは電源表示が消灯します。

## オートスタンバイモードをオフにする

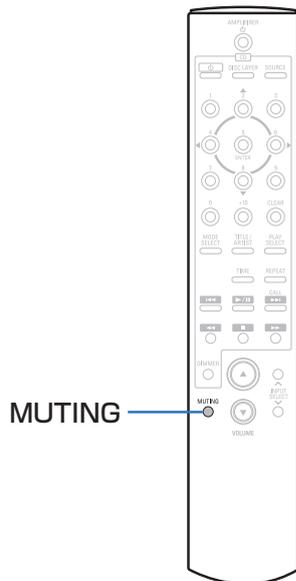
- 1 **AMPLIFIRER 0** を5秒以上押して、オートスタンバイモードをオフにする。  
スタンバイ表示が3回点滅します。
  - オートスタンバイモードをオフにすると、本機がスタンバイ状態のときは電源表示が赤色に点灯します。



- 電源がオンのときにオートスタンバイモードの設定操作をおこなうと、設定完了と同時に本機はスタンバイになります。

# イルミネーションライトの明るさを調節する

フロントパネルの音量調節つまみ（VOLUME）周囲の照明の明るさを調節します。



- 1 **MUTINGを5秒以上長押しする。**  
イルミネーションライトの明るさが切り替わります。  
5秒以上長押しするたびに明るさが3段階（明るい/暗い/消灯）で切り替わります。

# 困ったときは

## 目次

■ こんなときの解決方法..... (28)	■ 故障かな?と思ったら..... (29)
本機をパワーアンプとして使用したい..... (28)	電源が入らない / 電源が切れる..... (29)
本機のリモコンでデノン製CDプレーヤーを操作したい..... (28)	リモコンで操作ができない..... (30)
自動的にスタンバイ状態になるようにしたい..... (28)	音がまったく出ない..... (30)
	希望する音が出ない..... (31)
	音がひずんだり、ノイズが入ったりする..... (31)

## こんなときの解決方法

### 本機をパワーアンプとして使用したい

- エクスターナルプリアンプ入力端子にお手持ちのプリアンプを接続してください。(🔍 [18ページ](#))

### 本機のリモコンでデノン製CDプレーヤーを操作したい

- リモコンをCDプレーヤーに向けて操作してください。(🔍 [11ページ](#))
- CDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### 自動的にスタンバイ状態になるようにしたい

- オートスタンバイモードをオンに設定してください。(🔍 [25ページ](#))

## 故障かな?と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

### ■ 電源が入らない / 電源が切れる

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。</li> </ul>	<a href="#">19</a>
電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オートスタンバイモードが設定されています。操作がない状態で約30分間経過すると、オートスタンバイモードが動作します。オートスタンバイモードを無効にするには、リモコンの電源ボタン (AMPLIFIRER ) を5秒以上押してください。</li> </ul>	<a href="#">25</a>
電源が切れ、電源表示が約0.5秒間隔で、赤色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。</li> </ul>	<a href="#">13</a>
電源が切れ、電源表示が約1秒間隔で、赤色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。</li> <li>• 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。</li> <li>• 音量を下げ、電源を入れ直してください。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;"><a href="#">34</a></p> <p style="text-align: right;"><a href="#">21</a>、<a href="#">22</a></p>

## ■ リモコンで操作ができない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。</li> <li>リモコンは、本機から約7mおよび30° 以内の範囲で操作してください。</li> <li>本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。</li> <li>乾電池の⊕と⊖を正しくセットしてください。</li> <li>本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。</li> <li>3D映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや3D視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。</li> </ul>	<p><u>5</u></p> <p><u>5</u></p> <p>—</p> <p><u>5</u></p> <p>—</p> <p>—</p>

## ■ 音がまったく出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての機器の接続を確認してください。</li> <li>接続ケーブルを奥まで挿してください。</li> <li>入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。</li> <li>ケーブルが破損していないか確認してください。</li> <li>スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。また、スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子がゆるんでいないか確認してください。</li> <li>適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。</li> <li>主音量を適切な大きさに調節してください。</li> <li>ミュート（消音）モードを解除してください。</li> </ul>	<p><u>12</u></p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p><u>13</u></p> <p><u>22</u></p> <p><u>22</u></p> <p><u>22</u></p>

## ■ 希望する音が出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
特定のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>• バランス調節つまみで左右のスピーカーの音量バランスを調節してください。</li> </ul>	<a href="#">13</a> <a href="#">22</a>
ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。</li> </ul>	<a href="#">13</a>

## ■ 音がひずんだり、ノイズが入ったりする

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
レコード再生のときに、音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 針圧を調節してください。</li> <li>• レコードの針先を確認してください。</li> <li>• カートリッジを交換してください。</li> </ul>	— — —
レコード再生のときに、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>• レコードプレーヤーの近くにテレビやAV機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビやAV機器などから離して設置してください。</li> </ul>	<a href="#">15</a> —
レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音がスピーカーから出力される（ハウリング現象）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。</li> <li>• スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。</li> </ul>	<a href="#">15</a> —

# 保証と修理について

---

## ■ 保証書について

この製品には保証書が添付されております。

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

- 保証期間はご購入日から2年間です。

## ■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

### ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

## ■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

## ■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。  
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。  
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。  
別途駐車料金をいただく場合があります。

## ■ 補修部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

## ■ 修理を依頼される時

### 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

### 修理を依頼される時

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

## ■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

## ■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

# 付録

## 用語の解説

### M

#### MC/MMカートリッジ

レコードプレーヤーに取り付けるカートリッジには、MC型（Moving Coil）とMM型（Moving Magnet）の2種類があります。それら2種類の出力レベルはそれぞれ異なるため、お使いのカートリッジの種類に合わせてMC入力端子またはMM入力端子に接続してください。

### さ行

#### スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで $\Omega$ （オーム）という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

### は行

#### 保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。次のときに保護回路が動作します。

- スピーカーケーブルの芯線がリアパネルやねじに接触したり、スピーカーケーブルの+、-側が接触したりしているとき
- 本機の周囲の温度が異常に高くなったとき
- 長時間大出力で使用して内部の温度が上昇したとき

保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が赤色に点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。その後、電源コードを入れ直してください。

# 主な仕様

## ■ パワーアンプ部

・定格出力：

両チャンネル駆動 (CD IN→SPEAKER OUT)  
120W+120W (負荷8Ω、20Hz~20kHz、T.H.D. 0.1%)  
240W+240W (負荷4Ω、1kHz、T.H.D. 0.7%)

・全高調波歪率：

0.01% (定格出力-3dB時)、負荷8Ω、1kHz

・出力端子：

スピーカー：負荷4~16Ω  
ヘッドホン：Φ6.3mmジャック

・入力感度/入力インピーダンス

エクスターナルプリ：1.1V/23kΩ  
ゲイン値：29dB

## ■ プリアンプ部

・録音出力端子 (AUDIO OUT/RECORDER端子)：

150mV

・入力感度/入力インピーダンス

PHONO (MM) : 2.5mV/47kΩ  
PHONO (MC) : 200μV/50Ω (MC Low時)  
200μV/100Ω (MC High時)

・RIAA偏差 (20Hz~20kHz)：

CD、NETWORK、TUNER、AUX、RECORDER : 165mV/25kΩ  
BALANCED : 165mV/100kΩ

・最大入力：

PHONO (MM/MC) : 20Hz~20kHz±0.5dB

PHONO (MM) : 130mV/1kHz

PHONO (MC) : 10mV/1kHz

## ■ 総合特性

- ・ S/N比 (IHF Aネットワーク、8Ω負荷)

PHONO (MM) : 82dB (入力端子短絡、入力信号5mV時)  
PHONO (MC) : 70dB (入力端子短絡、入力信号0.5mV時)  
CD、NETWORK、TUNER、AUX、RECORDER : 108dB  
BALANCED : 89dB  
(入力端子短絡時)  
5Hz~100kHz (0~-3dB)

- ・ 周波数特性

## ■ 総合

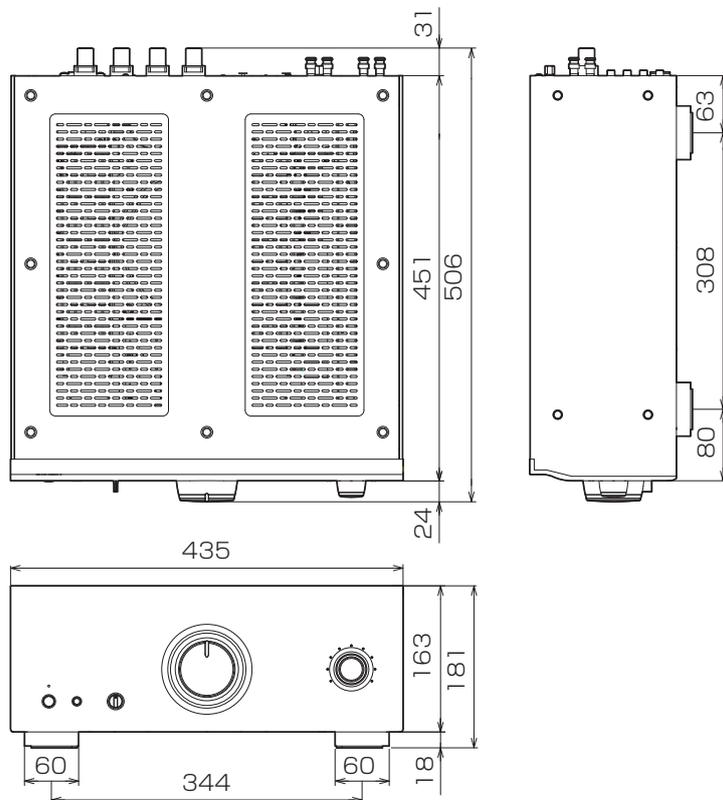
- ・ 電源 :
- ・ 消費電力 :
- ・ スタンバイ時の消費電力 :

AC100V、50/60Hz  
380W (電気用品安全法による)  
0.1W (オートスタンバイモード オン時)  
0.2W (オートスタンバイモード オフ時)

\* 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

## ■ 寸法

単位：mm



■ 質量：27.4kg

# 索引

<b>目</b>	
MC/MMカートリッジ切り替え	9、34
<b>い</b>	
イルミネーションライトの明るさを 設定する	26
<b>お</b>	
オートスタンバイモード	25
音量の調節	22
<b>こ</b>	
故障かな?と思ったら	29
こんなときの解決方法	28

<b>す</b>	
スピーカーインピーダンス	34
<b>せ</b>	
接続	
アンプ	16
再生機器	15
スピーカー	13、14
電源コード	19
プリアンプ	18
録音機器	17
<b>は</b>	
バランス端子	16

<b>ふ</b>	
付属品	4
<b>ほ</b>	
保護回路	34
保証と修理について	32
<b>み</b>	
ミュートイング	22
<b>り</b>	
リモコン	10



**DENON®**

[www.denon.com](http://www.denon.com)

Printed in Japan 5411 11278 00ASA  
Copyright © 2015 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.